

(注)組織としての公文書番号を付番していない場合、空欄で結構です。

(記入例)
号
日

平成 年 月

文化庁長官 殿

平成 年 月 日

(注)代表者氏名は、記名+押印としてください(印は代表者私印で可)。

申請者 ○○県文化遺産活用実行委員会
所在地 ○○県○○市○○1-2-3
代表者職名 委員長
代表者氏名 文化 一郎

実産文○
行活化○
委用遺県

平成 年度文化芸術振興費補助金（文化遺産を活かした地域活性化事業）交付要望書

平成 年度文化芸術振興費補助金（文化遺産を活かした地域活性化事業）について、補助金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり要望します。

事業の名称	○○県文化遺産総合活用活性化事業		(注)その他の経費には、実行委員会の事務費のみを計上してください。(その他事業ではありません。)
補助事業経費の配分	主たる事業費 その他経費 計	9,959,000 千円 41,000 千円 10,000,000 千円	(注)着手日は平成25年6月上旬以降としてください。
補助事業の着手及び完了の予定期日	着手 完了	平成 25 年 6 月 日 平成 年 月 日	(注)<収支予算書>収入の部～国庫補助額の金額と同じ。千円未満の端数は申請できませんので、自己負担額等で負担してください。
交付を受けようとする補助金の額	(補助対象経費	8,500,000 千円 10,000,000 千円の定額)	
その他参考となるべき事項	(注)収入の部の合計と同じ。		

(記載上の注意)

別紙として、以下の書類を添付すること。

- ①申請団体（補助事業者）の概要、規約、名簿（申請時点では案でも可）（様式任意）
- ②見積書（契約額に応じて）（様式任意）
- ③仕様書（用具の修理・新調、役務費、委託費、請負費等）（様式任意）
- ④伝統文化親子体験教室事業実施団体内訳（該当する場合）

<事業計画書>

事業の名称	〇〇県文化遺産総合活用活性化事業	<p>(注)実施する全事業の内容を具体的かつ詳細に記載いただき、実施団体についても併記してください。 なお、スペースが足りない場合は、行の幅を変更したり、ページを追加しても差し支えありません。</p>
事業の内容（具体的に記入すること）		
◆地域の文化遺産次世代継承事業		
<p>1. 情報発信、人材育成事業</p> <p>(1) 文化遺産に関する総合的な情報発信事業 地域の文化遺産を県内外に発信するため、県内の文化遺産を総合的に発信するための総合パンフレットを作成する。 対象となる文化財は県内所在の国、県、市町村指定文化財を中心に約200件。 〇〇県文化財悉皆調査等の調査結果を基礎データとし、編集の上、冊子化する。</p> <p>(2) ヘリテージマネージャー育成事業 〇〇大学と連携して、地域の文化遺産の保存・活用に関する専門家（ヘリテージマネージャー）を育成するための講習会を実施する。 建造物、埋蔵文化財の専門家を招へいし、講義・演習を10回程度実施する予定。</p> <p>2. 普及啓発事業</p> <p>(1) 古典の日制定記念民俗芸能フェスティバル 県民が地域の伝統文化に触れ、伝統文化への意識高揚を図るため、古典の日（11月1日）に、県内の民俗芸能フェスティバルを開催する。 県内民俗芸能保存団体10団体が後継者養成事業の成果を発表するほか、県内実演団体による国指定無形民俗文化財〇〇、県指定無形民俗文化財〇〇の公演を行う。 また、県外実演団体による自主公演を併せて実施する（国庫補助対象外）。</p> <p>(2) 子どもモニターツアー事業 地元観光協会等と連携し、地域の文化遺産を巡る修学旅行プランを造成を検討し、モニターツアー（試行）を実施する。</p> <p>3. 継承事業</p> <p>(1) 〇〇祭に使用する山車の修理 〇〇祭に使用する山車が経年劣化で傷んでおり、行事に使用する際支障が出るため、一部を修理し、併せて修理現場の一般公開を実施する。 修理は10月までに完了させ、11月の〇〇祭で使用する。現場公開は、軸部の補修を行う8月に行う予定。</p>		
◆伝統文化親子体験教室事業		
<p>子ども達が親とともに地域の伝統文化を体験できる教室事業を実施。 内訳：茶道1件、華道1件 詳細：別紙実施団体内訳表に記載</p>		

事業実施により想定される効果

◆地域の文化遺産次世代継承事業

1. 情報発信、人材育成事業

(1) 文化遺産に関する総合的な情報発信事業
.....。

(2) ヘリテージマネージャー育成事業
.....。

2. 普及啓発事業

(1) 古典の日制定記念民俗芸能フェスティバル
.....。

(2) 子どもモニターツアー事業
.....。

3. 継承事業

(1) ○○祭に使用する山車の修理
.....。

(注) 計画に記載された事業を実施することによりどのような効果・成果を得られるかを具体的かつ詳細に記載してください。

なお、スペースが足りない場合は、行の幅を変更したり、ページを追加しても差し支えありません。

事業の効果・成果に係る記述が不十分な事業は補助対象となりません。

◆伝統文化親子体験教室事業

.....。

<収支予算書>

区分		金額 (予定を含む。)	内訳	文化庁使用欄
収入の部	本事業以外の補助金・助成金	500,000	都道府県補助金額 200,000 市町村補助金額 200,000 〇〇助成金 100,000	
	その他収入	540,000	入場料収入 500,000 実費徴収 40,000	
	小計(A)	1,040,000		
	自己負担金(B)	460,000		
	本事業により交付を受けようとする補助金(C)	8,500,000		
収入合計(I) (A) + (B) + (C)		10,000,000		
支出の部	主たる経費	地域の文化遺産次世代継承事業	9,099,000	
		情報発信、人材育成事業	801,000	
		普及啓発事業	1,698,000	
		継承事業	6,600,000	
		記録作成、調査研究事業	0	
		その他事業	0	
	伝統文化親子体験教室事業	860,000		
	その他経費(事務費)	41,000		
支出合計(II)		10,000,000		

※この値は千円未満の端数が出ないようにしてください。(端数は申請できません。)端数が出る場合は自己負担額にいれてください。この値は1枚目の、交付を受けようとする補助金の額と同じになります。

※同額になるようにしてください。

支出内訳明細

(区分) ①. 次世代継承事業 2. 親子体験教室事業 3. 事務経費

(項) ①. 情報発信・人材育成 2. 普及啓発 3. 継承 4. 記録作成・調査研究 5. その他

※区分1の事業は項ごとに、区分2、3の事業は区分ごとに別ページとすること。
 ※区分1の事業のみ、(項)の1～5のいずれかに○を付けること。

事業名称	経費内訳	総事業費	国庫補助額
(1)文化遺産に関する総合的な情報発信事業	【賃金】 資料整理等賃金（パンフレット編集） @930×6時間×10日×2人=111,600円 【需用費】 印刷製本費（パンフレット印刷） @200×1,000部=200,000円（見積番号①）	311,600	311,600
(2)ヘリテージマネージャー育成事業	【報償費】 指導謝金（講習会講師） @9,400×10日×2人=188,000円 【旅費】 費用弁償（講習会講師 東京～名古屋 新幹線利用） @10,070×2（往復）×10日×1人=201,400円 【使用料及び借料】 会場借料（講習会会場） @5,000×2時間×10日=100,000円（見積番号②）	489,400	489,400
合 計		801,000	801,000

支出内訳明細 区分1の事業は項ごとに、区分2、3の事業は区分ごとに別ページとすること。

(区分) ①. 次世代継承事業 2. 親子体験教室事業 3. 事務経費

(項) 1. 情報発信・人材育成 ②. 普及啓発 3. 継承 4. 記録作成・調査研究 5. その他

※区分1の事業は項ごとに、区分2、3の事業は区分ごとに別ページとすること。
 ※区分1の事業のみ、(項)の1～5のいずれかに○を付けること。

事業名称	経費内訳	総事業費	国庫補助額
(1) 古典の日制定記念民俗芸能フェスティバル	<p>【賃金】 会場整理等賃金（会場設営、整理） @930×6時間×2日×20人=223,200円</p> <p>【共済費】 イベント保険 1日一式 50,000円</p> <p>【報償費】 出演料（演者） @35,000円×8人=280,000円（出演団体、出演者内訳別紙A）</p> <p>【使用料及び借料】 会場借料（照明、音響等使用料込み） 2日一式 250,000円（見積番号④）</p> <p>【委託費】 照明、音響等操作 一式 500,000円（見積番号⑤）</p>	1,303,200	1,303,200
(2) 子どもモニターツアー事業	<p>【賃金】 資料整理等賃金（パンフレット編集） @930×6時間×30日×2人=334,800円</p> <p>【需用費】 印刷製本費（ツアーパンフレット印刷） @30×2,000部=60,000円</p>	394,800	394,800
合 計		1,698,000	1,698,000

支出内訳明細 区分1の事業は項ごとに、区分2、3の事業は区分ごとに別ページとすること。

(区分) ① 次世代継承事業 2. 親子体験教室事業 3. 事務経費

(項) 1. 情報発信・人材育成 2. 普及啓発 ③ 継承 4. 記録作成・調査研究 5. その他

※区分1の事業は項ごとに、区分2、3の事業は区分ごとに別ページとすること。

※区分1の事業のみ、(項)の1～5のいずれかに○を付けること。

事業名称	経費内訳	総事業費	国庫補助額
(1)〇〇祭に使用する山車の修理	【請負費】 山車修理費(2台) 一式 6,600,000円(見積番号⑥)	6,600,000	6,600,000
合 計		6,600,000	6,600,000

支出内訳明細 区分1の事業は項ごとに、区分2、3の事業は区分ごとに別ページとすること。

(区分) 1. 次世代継承事業 (2.) 親子体験教室事業 3. 事務経費

(項) 1. 情報発信・人材育成 2. 普及啓発 3. 継承 4. 記録作成・調査研究 5. その他

※区分1の事業は項ごとに、区分2、3の事業は区分ごとに別ページとすること。

※区分1の事業のみ、(項)の1～5のいずれかに○を付けること。

事業名称	経費内訳	総事業費	国庫補助額
伝統文化親子 体験教室	合計2事業を実施 内訳、詳細は別紙実施団体内訳表に記載	900,000	860,000
合 計		900,000	860,000

支出内訳明細 区分1の事業は項ごとに、区分2、3の事業は区分ごとに別ページとすること。

(区分) 1. 次世代継承事業 2. 親子体験教室事業 3. 事務経費

(項) 1. 情報発信・人材育成 2. 普及啓発 3. 継承 4. 記録作成・調査研究 5. その他

※区分1の事業は項ごとに、区分2、3の事業は区分ごとに別ページとすること。
※区分1の事業のみ、(項)の1～5のいずれかに○を付けること。

事業名称	経費内訳	総事業費	国庫補助額
事務経費	【需用費】 消耗品費 一式 41,000円	41,000	41,000
合 計		41,000	41,000

<補助事業に係る文化財の概要>

文化財の名称	
指定の有無	
文化財の概要	

※記載上の注意

- 文化財毎に作成すること
- 申請の際は別葉とすること

<事業担当者連絡先>

ふりがな	〇〇けんぶんかいさんかつようじっこういいんかい	
申請団体名	〇〇県文化遺産活用実行委員会	
ふりがな	でんぶん いちろう	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (注)実務を担当(書類作成)している方のお名前を記載いただき、連絡先は平日の日中に連絡のとれる番号、アドレスを記載してください。可能であれば、携帯電話の番号も記載してください。 </div>
担当者氏名	伝文 一郎 ←	
担当者連絡先 (TEL)	〇〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇(内線〇〇〇〇)	
〃 (FAX)	〇〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	
〃 (E-MAIL)	〇〇〇〇@〇〇〇〇.〇〇.〇〇	
郵送先	〒 〇〇県〇〇市〇〇 〇-〇 〇〇市教育委員会〇〇課内	
その他	日中連絡先 090-〇〇〇〇-〇〇〇〇	

※記載上の注意

- 申請の際は別葉とすること

伝統文化親子体験教室事業 実施団体内訳表

【地方公共団体名： 】

(金額単位：円)

No.	教室名称	実施団体名	事業内容		期間	回数	会場	対象	総事業費 ①+②	補助金交付 希望額①	自己負担 予定額②
			コード	種別							
1	〇〇親子茶道教室	〇〇会	15	茶道	H25. 6～H25. 8	10	〇〇公民館	親子	400,000	380,000	20,000
2	△△子ども華道教室	△△会	16	華道	H26. 1～H26. 3	12	〇〇会	子ども	500,000	480,000	20,000
3									0		
4									0		
5									0		
6									0		
7									0		
8									0		
9									0		
10									0		
11									0		
12									0		
13									0		
14									0		
15									0		
16									0		
17									0		
18									0		
19									0		
20									0		
									900,000	860,000	40,000

※行が足りない場合は、別シートに記載すること。

※事業内容コードは、以下のものから1つを選ぶこと。コード11、20、23を選択する場合、具体的な事業種別を種別欄に記載すること。

01. 神楽 02. 獅子舞 03. お囃子 04. 地芝居・人形芝居 05. 民謡・民踊 06. 和太鼓 07. 能楽 08. 邦楽 09. 邦舞 10. 詩吟
 11. その他伝統芸能 12. 百人一首・カルタ 13. 囲碁 14. 将棋 15. 茶道 16. 華道 17. 書道
 18. 和装礼法 19. その他生活文化・国民娯楽 20. 祭り行事 21. 工芸技術 22. いずれにも該当しないもの